

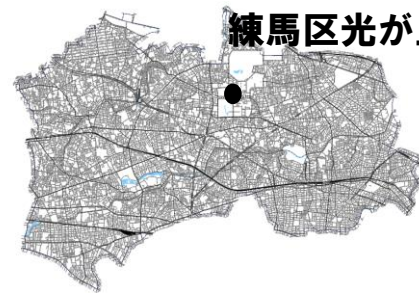
四季の香 ローズガーデン

Hikarigaoka Shikinokaori Rose Garden

位置図



練馬区光が丘



現況写真



色彩のローズガーデン (約1,080㎡ バラ約140品種、260株)

【バラの低農薬栽培への取り組み】
耐病性の強い品種選定により、団地に囲まれた都市型バラ園の使命として周辺環境に配慮した、人と自然に優しいバラ園の考え方をより一層進めます。

【維持管理の手間の軽減】
バラと宿根草の混植が大きな魅力ですが、灌水と除草に大変な労力がかかることが課題でした。

そこで新しいエリアでは、水圧を一から見直して自動灌水を設置、ガーデン内を細かく区分し土壌の乾燥具合により灌水の程度を変えられるよう工夫しました。また、修景的にもよくバラに悪影響を与えない地被類で地面を被覆することによって雑草の生育を抑制し、管理上の手間を軽減する工夫をしています。

ホワイトローズ (17品種23本)



ボレロ

シンボルローズ (1品種35本) 新品種 「四季の香」

ピンク (53品種79本)



マイスタージンジャー

イエロー& アプリコット (29品種55本)



レディ・エマ・ハミルトン

ブルー (9品種16本)



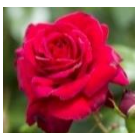
ノヴァーリス

ブロッチ (8品種12本) ※花の中央に現れる丸形や雲形などの模様のこと

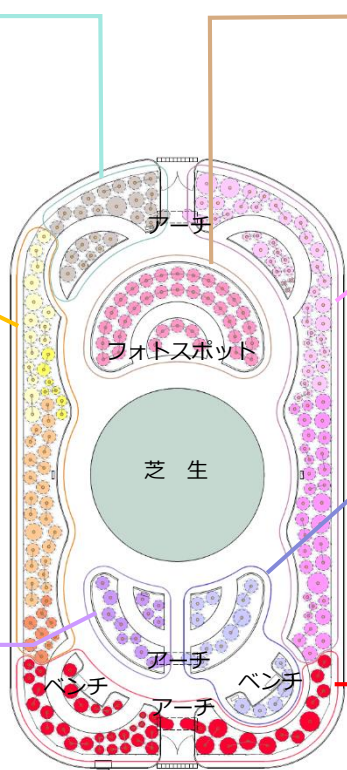


アイズ・フォー・ユー

レッド (19品種42本)



レパブリック・ドウ・モンマルトル



香りのハーブガーデン (約770㎡ ハーブ約150種、990株)

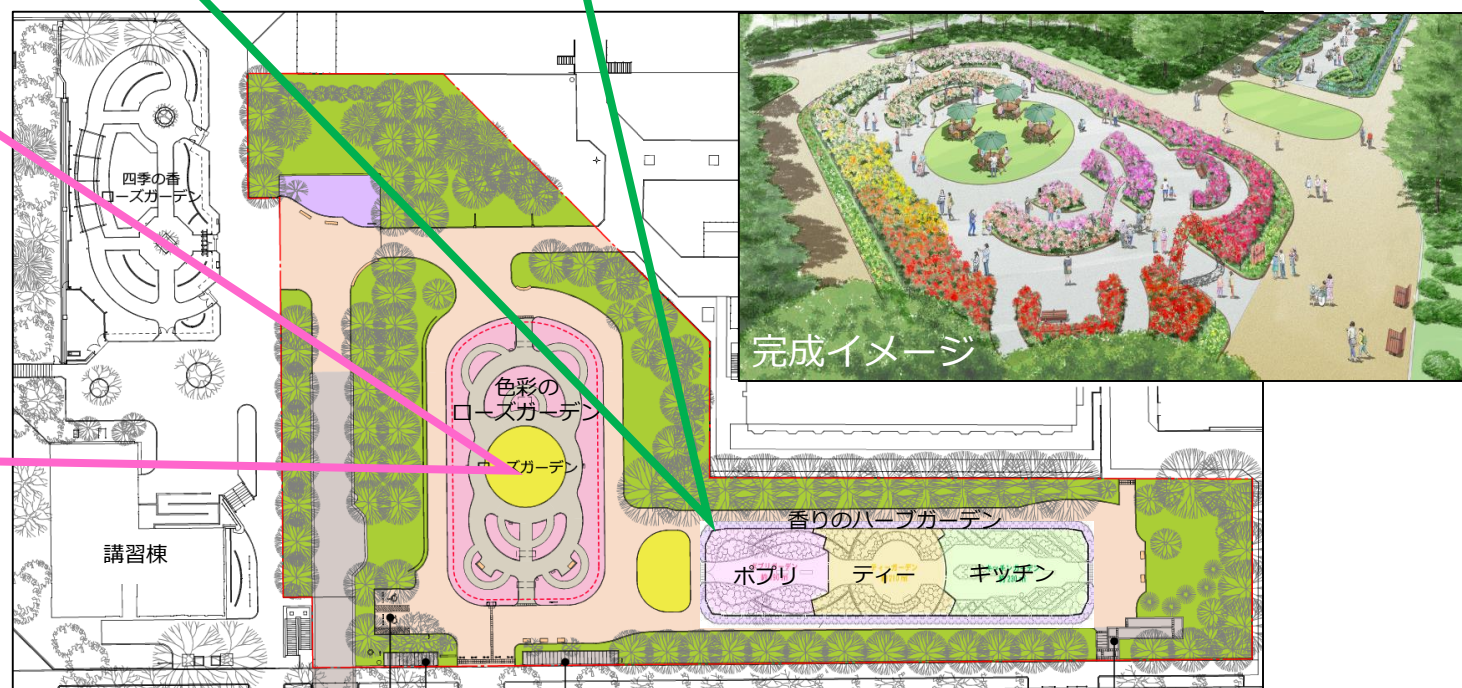
【修景的に魅せることのできるハーブガーデン】
土壌の乾燥・湿潤状態と土壌酸性度によりハーブを区分して植栽し、ベンチの傍にホップを植えて開花期にはホップに囲まれて香りを楽しむことのできるハーブベンチ等のアイデアを取り入れました。
また、同施設内講習棟において、本ハーブ園のハーブを活用した、ハーブティー講座やキッチンハーブ講座などでの活用をしていきます。

- 【ポプリガーデン：ハーブをポプリ等に加工して香りを楽しむ】
香りを楽しむ セージ、ローズマリー、ラベンダー、キャットミントなど
手触りを楽しむ ラムズイヤーなど
花をブーケにする エキナセアなど
染料に用いる ダイヤーズカモミールなど

- 【キッチンガーデン：料理にハーブの香りをプラス】
葉を用いる ミント、オレガノ、タイム、セージ、レモングラスなど
花・葉を用いる チャイブ、アーティチョークなど
葉・葉柄を用いる ルバーブなど
全草を用いる キャラウェイ、フェンネルなど
果実を用いる ブルーベリー、ラズベリーなど

- 【ティーガーデン：ハーブティーにして香りを楽しむ】
葉をお茶に レモンバーム、オレガノ、ミント、タイムなど
花・葉をお茶に 食香バラ、ジャーマンカモミールなど
根をお茶に マーシュマロウなど

- 【外周植栽：様々な品種のラベンダーを植栽】
‘アボンビュー’ 春 (4~5月) に咲き耐寒性・耐暑性強い‘インプレス・パープル’ 夏 (7~8月) に開花する など



平面図

企画名：ヴォーリズの森・かおりの庭づくり

企画団体名

学校法人 ヴォーリズ学園

企画協力団体：西の湖・蛇砂川いきもの調査・観察の会

ランドスケープデザイン・アトリエ風

現在までの取組内容や応募に至った背景

ヴォーリズの森は、学校法人ヴォーリズ学園の教育施設です。1994年学園のグラウンド建設のために用地取得し、その敷地の一部に学園附属の近江兄弟社小学校の屋外教育（学びの小屋、陶芸窯、キャンプファイヤー場、記念の森など）を設けました。2020年春ヴォーリズみらい構想（学園の将来構想）の一環として「ヴォーリズの森」としていっそうの魅力づくりとして再整備を行うこととしました。学園の活用以外に広く学園外の人たちも利用できるものとしてまた、地域の自然環境とあわせ施設に新たな魅力を生み出そうと計画しています。

企画の紹介とその狙い

- 敷地周辺のヨシ原湿地の自然環境＝国の重要文化景観第一号に指定（2006年）、ラムサール条約登録地（2008年）、世界農業遺産（申請中）などの地域に位置する教育フィールド（実践活動地）として、「かおりの庭づくり」を行うことでさらなる個性と魅力を創る。
- 植物のかおりを通じて、地域の自然への人々の関心を生み、多様な昆虫類の生息の場をつくる。
- 地域で活動する「西の湖・蛇砂川いきもの調査・観察の会」との協力において、さまざまな自然との関わりを深め、地域の魅力などを学外に広く伝える。
- ヴォーリズの森・かおりの庭づくりを通じて「SDG'S」や「ESD」と取り組みをすすめる。

企画実施のスケジュール

2020年									2021年								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ヴォーリズの森整備計画と改修作業									ヴォーリズの森の運営／活用／維持管理の継続								
植栽地の準備と一部植栽開始									かおりの庭づくりワークショップ								

年	活動内容	規模・頻度
2020年5月～2021年4月(継続)	ヴォーリズの森整備計画検討と施設の改修作業（ボランティアによる自力施工など含む）	●5名/回 ●12回/年
	西の湖・蛇砂川いきもの調査・観察の会 月例観察会の実施（おもに周辺のヨシ原湿地における鳥類、昆虫類、哺乳類などを対象）。	●15名/回 ●12回/年 ●200人/年
	年2回（春・夏）のPTA環境美化活動による草地の管理（刈り払いなどの作業）	●10名/回 ●2回/年
年	今後の展望	
2021年3月以降	3月～6月 ヴォーリズの森・かおりの庭づくりワークショップ開催（予定）各植物の特徴や役割を解説した後にあらかじめ指定（植物に適した）場所に植え込む。（全5日、各回20～30名を想定し、延べ100～200人程度の参加）	
	植栽後は、説明看板で植物の状況を知らせる工夫を行う。	
	自然観察会（月例）、解説会（年4回程度）を「かおりの庭」で行う予定。	

かおりの樹木・草花の選定理由や見頃

早春の花木類（マンサク、サンシュユ、ロウバイ）にはじまり初夏から盛夏のスイカズラやローズマリー、セージ類、など花の変化を楽しみ。秋の黄葉のかおりに特徴のあるカツラ、冬にも葉を楽しむ事できるようにゲッケイジュやヤブニッケイを植栽する。その他、宿根草類は初夏から晩秋まで花やかおりを楽しみ、多くの蝶類の蜜源植物・食草となる種を選んだ。ただし敷地内の緑地には昆虫類の食草・食樹となる樹種（クスノキ、コナラ、クヌギ、エノキ、ヤナギ類、ススキなど）が既にある。

かおりの樹木・草花名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マンサク、サンシュユ ロウバイ、ヒメコブシ	■											
スイカズラ、フッドレア、 セージ類					■							
ハギ、フジバカマ、 オミナエシ、ミソハギ							■					
カツラ、メグスリノキ				■						■		
ニオイヒバ、ヤブニッケイ、 ゲッケイジュ	■										■	

企画名：ヴォーリスの森・かおりの庭づくり

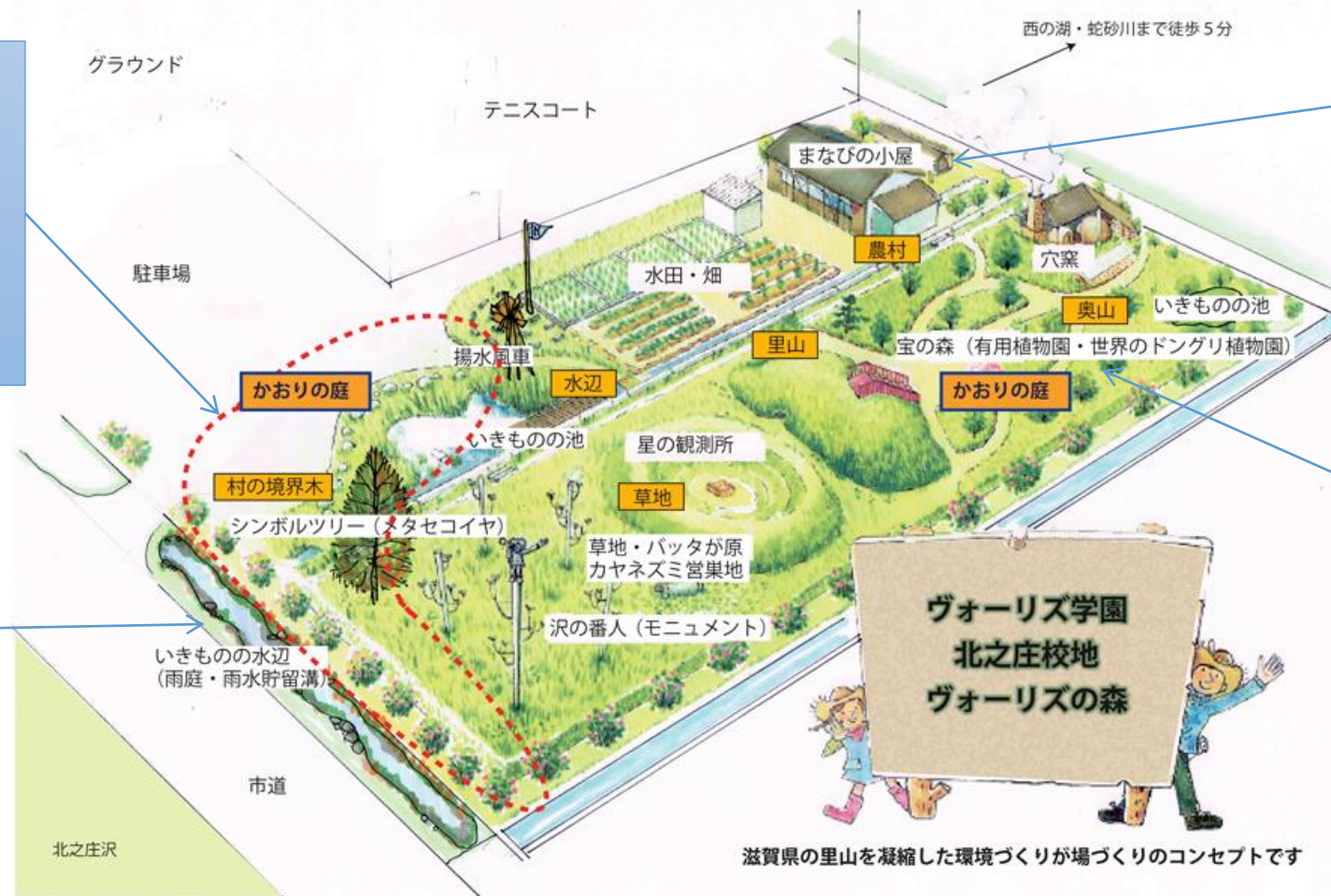
主要な地点の成木時の予想図（企画実施後）

アピールポイント①

「いつでも楽しめる場所の魅力」
駐車場の接する緑地に「かおりの庭」を育てることでグラウンドを訪れた多くの利用者が花やかおりを楽し無事出来る。普段、ゆっくり緑を楽しむ事が出来ない学生や保護者も練習や試合の待ち時間の間に接することが出来る場所。

アピールポイント②

「緑環境の連続の魅力」
既存の緑地や今後整備予定箇所（いきものの水辺：雨庭）に連続させることで植物の生育範囲やいきものの生息環境の広がり確保する。



アピールポイント④

「活動拠点の魅力」
まなびの小屋の改修整備（2020年5月～10月）によりボランティア参加が活発になることを想定している。開かれた拠点があることで決めの細かい関わりが生まれる。

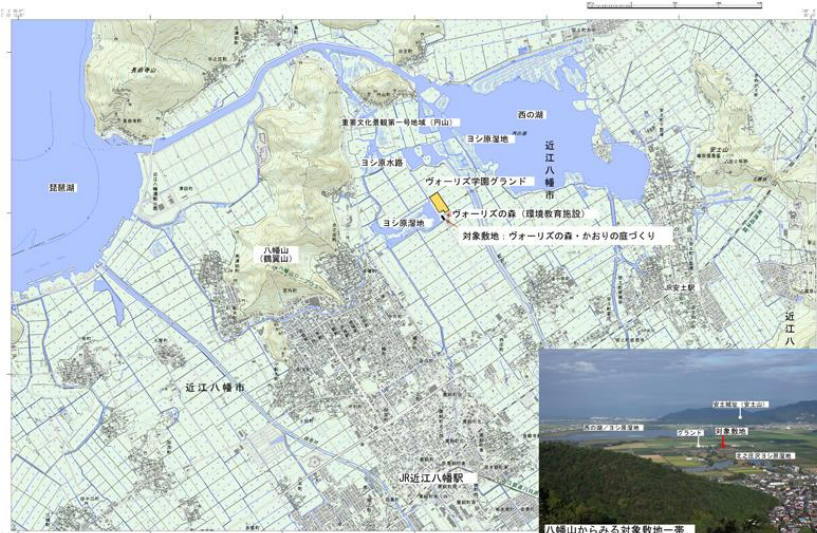
アピールポイント③

「多様な樹林環境の魅力」
既存の森（有用植物園、記念樹の森）への植栽（かおりの樹木を補植）を行うことで、多様な樹林環境を育てる。現在は、コナラ、クヌギ、クスノキ、ヤマザクラなどが育つ小さな森。

現状写真（企画実施前）



「かおりの庭づくり」
対象地現況写真



「かおりの庭づくり」対象地位置図

樹木・草花の配置図（平面図）



補足：具体的な植栽位置はワークショップ時に参加者と考え/植え込み作業を行います。植え込み箇所は、4つのゾーンから考えています。

企画名：香りとアートの水眠ingプール ~香の島が浮かぶ人とメダカの極楽浄土

企画団体名

柳幸典つなぎプロジェクト実行委員会

- ・2008年、社会教育型事業として始まった住民参画型アートプロジェクトチームの8代目
- ・地域住民、アーティスト、行政、大学、各専門家等の幅広いメンバーが集う
- ・現在は3ヶ年計画で2021年秋の大型個展開催（本植栽地のオープン）を目指し活動中

※柳幸典（Yanagi Yukinori）：現代美術家。現代社会がはらむ諸問題にユーモアを交えながらも正面から向き合う作品づくりで、世界中から高い評価を得ている

現在までの取り組み内容や応募に至った背景

公害を経験した特色の薄い地域が挑んできた「アート」と「人と自然に優しい一次産業」の地域づくり。担ってきた小さな美術館も20周年。その間に廃校となった小学校を舞台に、「芸術体験もできる宿泊施設」×「苦海浄土の海を借景とした癒しの空間」をプロデュースする住民参画型プロジェクトが発足。「癒しに『香りの植物』は？」「イメージは極楽浄土？」「絶滅に瀕する『メダカ』さんの楽園にしようよ」--香りの植物の力を借りた「生きた美術館」、生命の「憩い」と「つなぎ」の場づくりがここに始動！

企画の3つ目標と各狙い

- ①水辺の香りの植物等を配置した「香の浮島」と「ラグーンジオフィルター」を提供
⇒メダカや水生昆虫の生息環境の好適化、人が水辺の生物と同じ目線で物事を体感できる場を創出（水辺を他ではない視点、香りを感じる）
- ②10のゾーニング植栽による四季を通じた彩りと香りの絶えない空間を提供
⇒訪れる人が五感で学び、楽しめる場、芸術的創造力を養う場、地域の歴史、産業、植物にも触れられる場、昆虫や鳥類への好適な環境を創出
- ③宿泊するからこそその一期一会の香りの体験を提供
⇒「今」「ここ」の特別な体験をできる場を香りの植物で創出；夜間や早朝こそ香りを楽しめる植栽、蓮花茶づくりや象鼻杯等の体験メニューを充実（睡眠時間帯を他では味わい難い香りで充実）

苦海浄土の海を借景とした人と生き物の「癒しの空間」=極楽浄土

企画の紹介

環境、生命、芸術--世界的な現代美術家の柳幸典と、2008年から継続する住民参画型プロジェクトのコラボで、当該地の地域性やかつての学び舎、歴史、産業、文化.....様々な思い、魂を注入した企画。
 ・汚染された苦海浄土の海を借景に「癒しの空間」を作りたい
 ・「五感」で植物、海、自然、地域、様々な人、もの、こと、過去、現在、未来といった繋がり「つなぎ」を感じられる空間、学びとれる場を創出したい
 ・海と天が結び合う瞬間の神々しさを地域資源の再生によってこの場に造形したい
 ・生き物や自然環境に癒されながらも、自然環境の逞しさと脆さなども体感できる場にしたい

※苦海浄土：作家の石牟礼道子氏が水俣病の実態を描き出した作品

各項目への配慮と香りの植物

- ◎環境性...在来の海岸や水辺の植物も用いた植栽による様々な生物に配慮したビオトープづくり（例：プール内の象徴種メダカのSanctuary化、香りの植物を用いた水質浄化）
- ◎持続性...自分たちが楽しみながら管理できる仕掛けとして、自分たちのやりたい企画に応じた植栽を企画（例：ハーブを使った料理教室、香りの空間を楽しむ週末1dayカフェ等）
- ◎独創性...芸術の表現への香りの植物の活用、香の浮島やラグーンジオフィルター、廃校のプールを活用した癒しの空間等（この空間は宿泊施設「入魂の宿」としても創作活動等に活用）
- ◎公共性...施設内を訪れた人だけでなく、散歩で通る人、近所の地域の人も香りと彩りを四季楽しめる植栽（フェンスや垣根にも香りの植物を活用）、芸術と環境と食のまちの象徴に
- ◎その他...水俣病からの再生、今回の水害からの復興の象徴として地域で育てられる象徴種を植栽

企画実施のスケジュール

●：ワークショップ ●：採種 ●：講習会

月\年		2020											2021								
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
		環境調査	植栽計画	設計	整地・施工				植栽												
		アンケート調査		里親育苗											管理			9/11公開			
				●	●	●	●				●		●			●					

年	活動内容	規模・頻度
2020年4月～ 2021年4月	● ワークショップを開催、地域住民の植栽地への思い、やりたいことから、植栽種、植栽後の活動等を企画	15～20名 6回/年
	● 植栽地周辺の海岸、河川での生物調査を地域住民も交えて実施、移植する動植物の採集や採種を行う	20名程度 2回/年
	● 決定した植栽種や採集・採種した生物の育苗をしてくれる里親を募集し、その栽培や飼育の講習会を開催	30名程度 2回/年
年	今後の展望	
2021年秋	完成した植栽地の一般公開を含む展示会を開催。実行委員会の住民代表が香りの植物を使った3つ以上の企画を催す（のべ参加者150名）	
2024年	植栽植物とメダカの個体数が安定、植栽植物は植樹した当初の2倍、メダカは放流時の10倍に個体数が増加。それに伴う企画を四季開催	
2026年	当該地が香りの植物を触媒として環境、芸術、産業の融合の場として広く認識され、宿泊と体験の稼働率が年間7割。水生昆虫の種類数も当初の3倍に	

主なかおりの樹木・草花の選定理由や見頃

四季を通じて香りと彩りのある風景に

※緑線は葉、赤線は花、橙線は実が香る時期を示す

番号	ゾーン	コンセプトと狙い	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	①ラグーンジオフィルター	水質浄化と水生生物の保育場を香る植物と彩りを添える植物も取り入れて						ウォーターミント				セリ			
2	②香る芝生のエコトーン	周年香る芝生と彩りのある植物で水辺と蔓性の植物帯を繋ぐ			スイセン		ローマンカモミ			ワイルドストロベリー					ノジギク
3	③香の浮島	香りの植物で夏季の水面を彩るとともにのプール内の水温上昇と富栄養化を抑制		レモングラス			スイレン		ハス						
4	④「みどり香るフェンス」	蔓性植物での香りの壁面アート、夏季は遮光効果を持たせ、冬は適度な光を入れる		ブドウカズラ		テイカカズラ			ハゴロモジャスミン				クダモノトケイソウ		
5	⑤「桜柵」	学校の思い出の桜をシンボルツリーに春の香りを楽しみ、遮光での水温上昇抑制			ソメイヨシノ										オシロイバナ
6	⑥「香と彩の前庭」	優雅な海辺のイメージを、越冬できる南の彩りと香りを持つ植物で表現			ゲットウ		オリーブ			テリハバンジロウ					
7	⑦-1「蜜柑と鬼灯のポタジエ」	水害前に取組んでいた地域の特産品の香りと彩りを実の香りを中心に伝える							食用ホオズキ			甘夏			
8	⑦-2「蜜柑とハーブのポタジエ」	四季（特に初夏と冬）の彩りと香りを地元らしい風景も添えて								ローズマリー					
9	⑧「香りの垣根」	ゆっくり滞在中に過ごしてもらおうプライベート空間は周年いい香りが漂う囲いで						ヤマユリ				柑橘類			
10	⑨「香の温室」	ガラス張りのシャワールームは、南国の空気漂う植物で目隠しをしながら温室栽培						チャノキ				カラネオガタマ			ツバキ
								コーヒーノキ							マツリカ

企画名：香りとアートの水眠ingプール ~香の島が浮かぶ人とメダカの極楽浄土

実施場所（舞台）

あかさき
旧・赤崎小学校
熊本県葦北郡津奈木町福浜165番地



教室からも釣り可能な
「海に浮かぶ校舎」

現状写真（企画実施前）



植栽で
Change!

主要な地点の成木時の予想図（企画実施後）



①ラグーンジオフィルター

- ・彩りと香りを楽しめるバイオジオフィルター（水質浄化能力の高いマコモ等、香りのあるセリやセキショウ等、彩りもあるネコヤナギやオモダカ等の水辺の植物を配置）
- ・河川や湖沼の水辺の植生帯の機能を再現（水質浄化、水温上昇抑制、メダカや水生昆虫の生息・保育場）
- ・浅場で子供も水生生物の観察が楽しめる設計

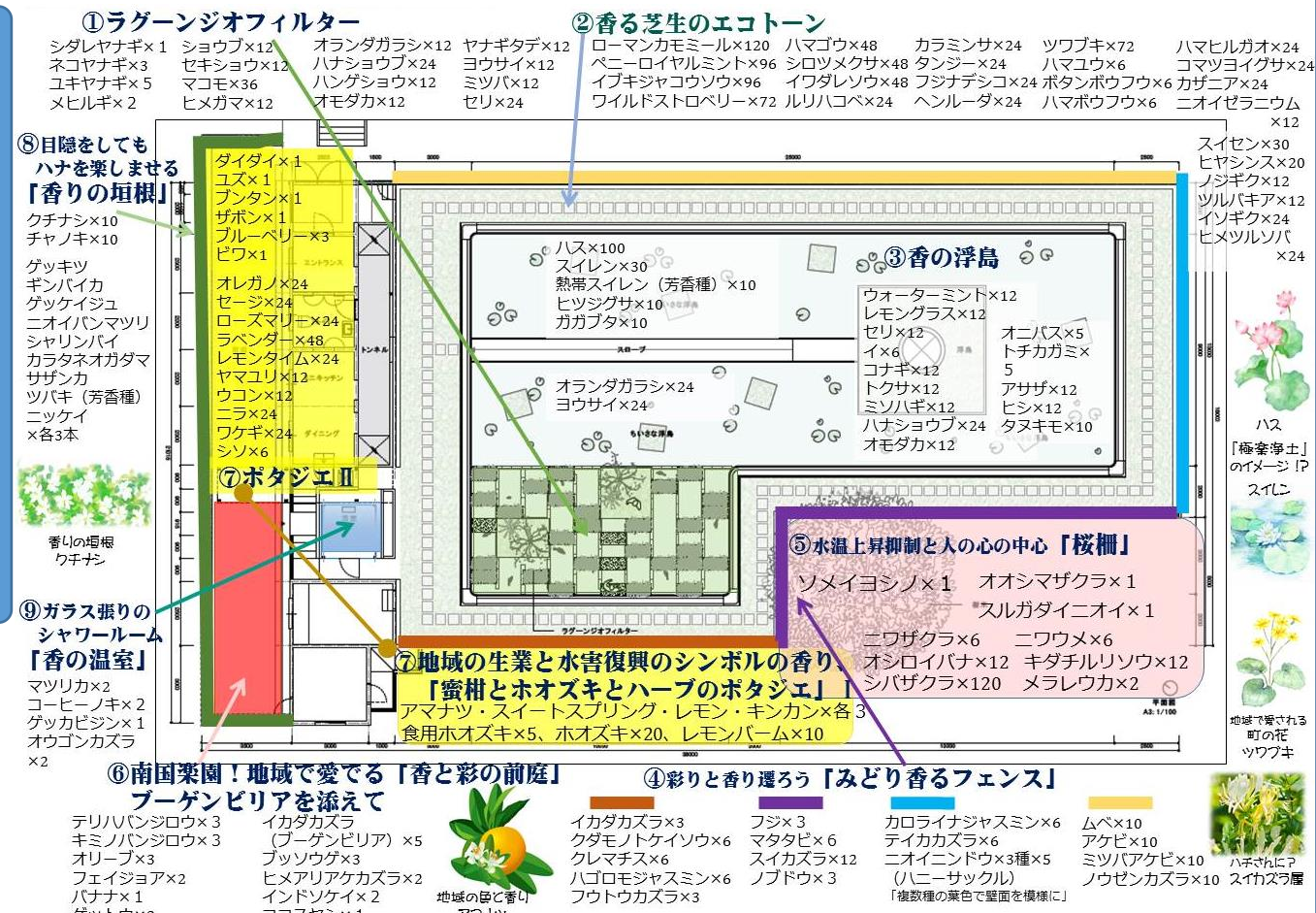
②香る芝生のエコトーン

- ・プールサイドの通路は、ペニーロイヤルミント、カモミール類等を用いた「香りの芝生」に
- ・水辺とフェンスの蔓性植物帯を繋ぐ植栽を近くに生育する町花のツブキやハマゴウ等の海岸植物等も用いて施し、見た目の彩りプラス、水生昆虫の羽化や産卵をはじめ生物にも配慮
- ・彩り、香り、地域の植物を楽しめる
- ・訪れた人が水遣りを楽しめる灌漑設備を設置予定

その他のアピールポイント

- ⑤水温上昇抑制と人の心の中心「桜柵」
- ⑥南国楽園！地域で愛でる「香と彩の前庭」ブーゲンビリアを添えて
- ⑦地域の生業と水害復興のシンボルの香り、「蜜柑とホオズキとハーブのポタジェ」
- ⑧目隠してもハナを楽しませる「香りの垣根」
- ⑨ガラス張りのシャワールーム「香の温室」
- ⑩宿泊者限定！今しか味わえない特別な香りを届ける「薫香と入魂の宿」の体験メニュー

樹木・草花の配置（図平面）



③香の浮島

- ・ハスやスイレンだけでなく、彩りのハナショウブ、香りのウオーターミント、食体験のオランダガラシなどを混植
- ・プール内の水温上昇抑制と水質浄化の場
- ・メダカの産卵・保育場や水生昆虫の生息場
- ・浮島の真ん中にプール内を歩いて人が顔をさせる空間を創出、水辺の生き物と同じ目線で風景や香りを楽しめるように設計

④彩りと香り運ろう「みどり香るフェンス」

- ・フェンスの緑化は、花、実、紅葉などの見頃と香り頃や、落葉や繁茂期などでの地温、水温を調整する機能を考慮して4タイプで植栽
- ・香りのフェンスは、風を通じて人には香りを届け、ハニーサックル等の植栽で訪花昆虫にも優しい環境を創出
- ・フェンスの内からも外からも楽しめる仕様に

樹木・草花の配置 (図平面の拡大)

①ラグーンジオフィルター

- シダレヤナギ×1
- ネコヤナギ×3
- ユキヤナギ×5
- メヒルギ×2
- ショウブ×12
- セキショウ×12
- マコモ×36
- ヒメガマ×12
- オランダガラシ×12
- ハナショウブ×24
- ハンゲショウ×12
- オモダカ×12
- ヤナギタデ×12
- ヨウサイ×12
- ミツバ×12
- セリ×24

②香る芝生のエコトーン

- ローマンカモミール×120
- ペニーロイヤルミント×96
- イブキジャコウソウ×96
- ワイルドストロベリー×72
- ハマゴウ×48
- シロツメクサ×48
- イワダレソウ×48
- ルリハコベ×24
- カラミンサ×24
- タンジー×24
- フジナデシコ×24
- ヘンルーダ×24
- ツツブキ×72
- ハマユウ×6
- ボタンボウフウ×6
- ハマボウフウ×6
- ハマヒルガオ×24
- コマツヨイグサ×24
- カザニア×24
- ニオイゼラニウム×12

⑧目隠しでもハナを楽しませる「香りの垣根」

- クチナシ×10
- チャノキ×10
- ゲッキツ
- ギンバイカ
- ゲッケイジュ
- ニオイバンマツリ
- シャリンバイ
- カラタネオガダマ
- サザンカ
- ツバキ (芳香種)
- ニッケイ
- ×各3本

- ダイダイ×1
- ユズ×1
- ブンタン×1
- ザボン×1
- ブルーベリー×3
- ビワ×1
- オレガノ×24
- セージ×24
- ローズマリー×24
- ラベンダー×48
- レモンタイム×24
- ヤマユリ×12
- ウコン×12
- ニラ×24
- ワケギ×24
- シソ×6

⑦ポタジェⅡ

⑦地域の生業と水害復興のシンボルの香り「蜜柑とホオズキとハーブのポタジェ」

- アマナツ・スイートスプリング・レモン・キンカン×各3
- 食用ホオズキ×5、ホオズキ×20、レモンバーム×10

③香の浮島

- ハス×100
- スイレン×30
- 熱帯スイレン (芳香種) ×10
- ヒツジグサ×10
- ガガブタ×10
- オランダガラシ×24
- ヨウサイ×24
- ウォーターミント×12
- レモングラス×12
- セリ×12
- イ×6
- コナギ×12
- トクサ×12
- ミソハギ×12
- ハナショウブ×24
- オモダカ×12
- オニバス×5
- トチカガミ×5
- アサザ×12
- ヒシ×12
- タヌキモ×10

⑤水温上昇抑制と人の心の中心「桜柵」

- ソメイヨシノ×1
- オオシマザクラ×1
- スルガダイニオイ×1
- ニワザクラ×6
- ニワウメ×6
- オシロイバナ×12
- シバザクラ×120
- キダチルリソウ×12
- メラレウカ×2

⑨ガラス張りのシャワールーム「香の温室」

- マツリカ×2
- コーヒノキ×2
- ゲッカビジン×1
- オウゴンカズラ×2

⑥南国楽園！地域で愛でる「香と彩の前庭」ブーゲンビリアを添えて

- テリハバンジロウ×3
- キミノバンジロウ×3
- オリーブ×3
- フェイジョア×2
- バナナ×1
- ゲットウ×3
- イカダカズラ (ブーゲンビリア) ×5
- ブッソウゲ×3
- ヒメアリアケカズラ×2
- インドソケイ×2
- ココスヤシ×1



地域の色と香り アマナツ

④彩りと香り遷ろう「みどり香るフェンス」

- イカダカズラ×3
- クダモノトケイソウ×6
- クレマチス×6
- ハゴロモジャスミン×6
- フウトウカズラ×3
- フジ×3
- マタタビ×6
- スイカズラ×12
- ノブドウ×3
- カロライナジャスミン×6
- テイカカズラ×6
- ニオイインドウ×3種×5 (ハニーサックル)
- 「複数種の葉色で壁面を模様」
- ムベ×10
- アケビ×10
- ミツバアケビ×10
- ノウゼンカズラ×10



ハチさんに? スイカズラ属

- スイセン×30
- ヒヤシンス×20
- ノジギク×12
- ツルバキア×12
- イソギク×24
- ヒメツルソバ×24



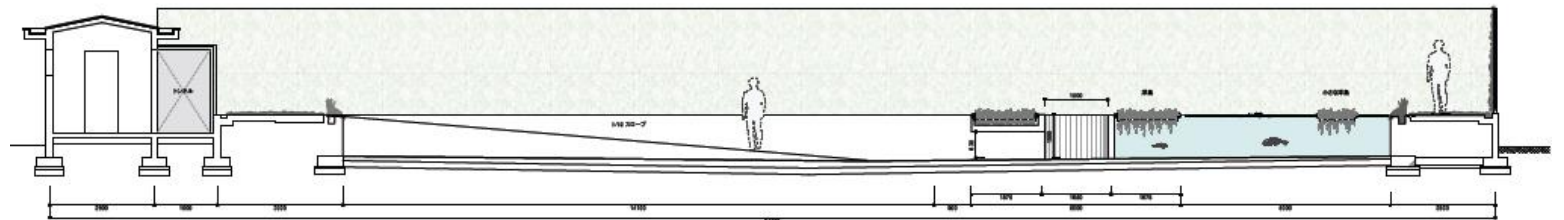
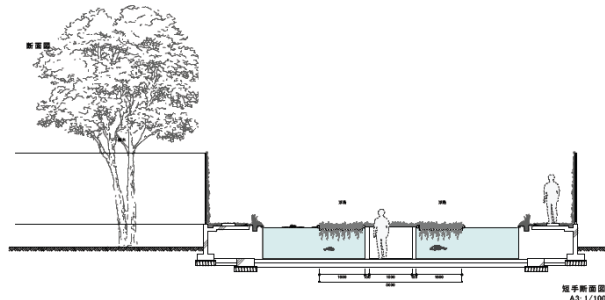
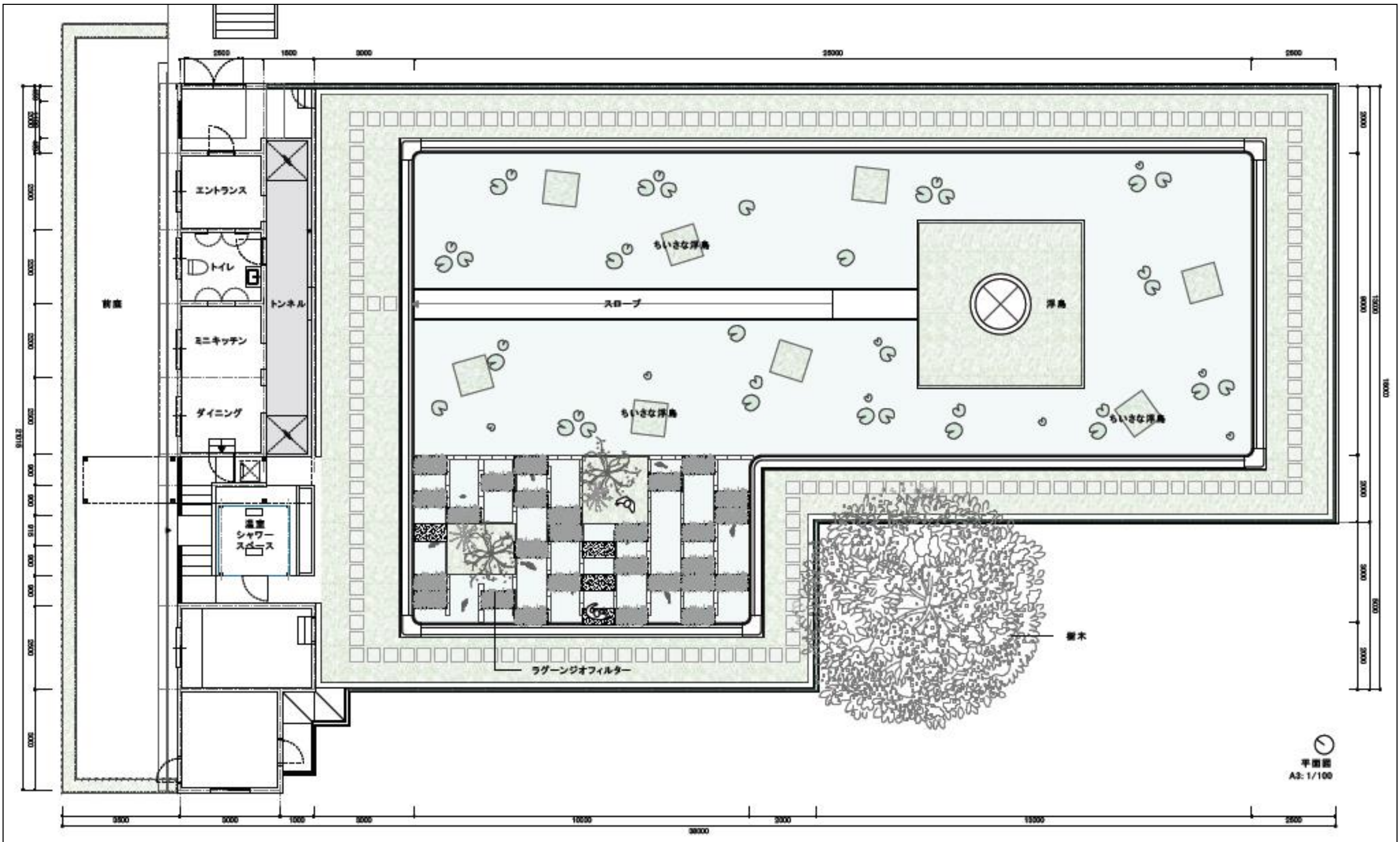
ハス 「極楽浄土」のイメージ!? スイシ



地域で愛される町の花 ツツブキ

平面図 A3: 1/100

植栽場所の図平面と断面図



企画名：みんなツナガル癒しのさわら花笑みガーデン（概要ペーパー）

企画団体名：早良病院園芸療法ガーデンチーム（連携：福岡市緑のまちづくり協会・社会福祉協議会）
MEMBER：早良病院事務職員、医療スタッフ、西日本短期大学職員・学生、園芸療法士

○現在までの活動

早良病院ではこれまでに「患者さんや地域の方々の癒しの場」を作りたいという思いから、病院前の緑地帯を花壇にする取り組みを行ってきました。この活動をさらに深化させ、患者さんだけでなく、地域の様々な方（子ども、大人、高齢者）が「みどり」と「香り」でツナガル庭を作り、多世代交流による地域活性化を担っていくべく、短大関係者や園芸療法士を加えたチームとして活動を開始しました。



患者さんや地域の方々の癒しの場をつくりたい

環境性

植栽地周辺には、高齢者施設や保育園、幼稚園等の施設があり、周辺はマンションや住宅街が立ち並んでいます。このような幅広い対象の方が誰でもみどりと香りのある環境に触れられるように、ユニバーサルデザインを取り入れたデザインとしています。さらに、植栽する樹木は、樹木生産地の福岡県久留米地域と連携し、地域の樹木を数多く取り入れることで、環境への配慮も行っています。

持続性

早良病院では「花を育てるボランティア」を募集しており、本プロジェクトのチームメンバーも合わせると10名を超えています。また、福岡市緑のまちづくり協会や福岡市社会福祉協議会とも連携を図ることで、多様な地域住民が庭の維持管理に関われる体制となっています。現在、近隣大学や農業高校との連携も視野に入れ、持続的な活動になるように調整を行っています。

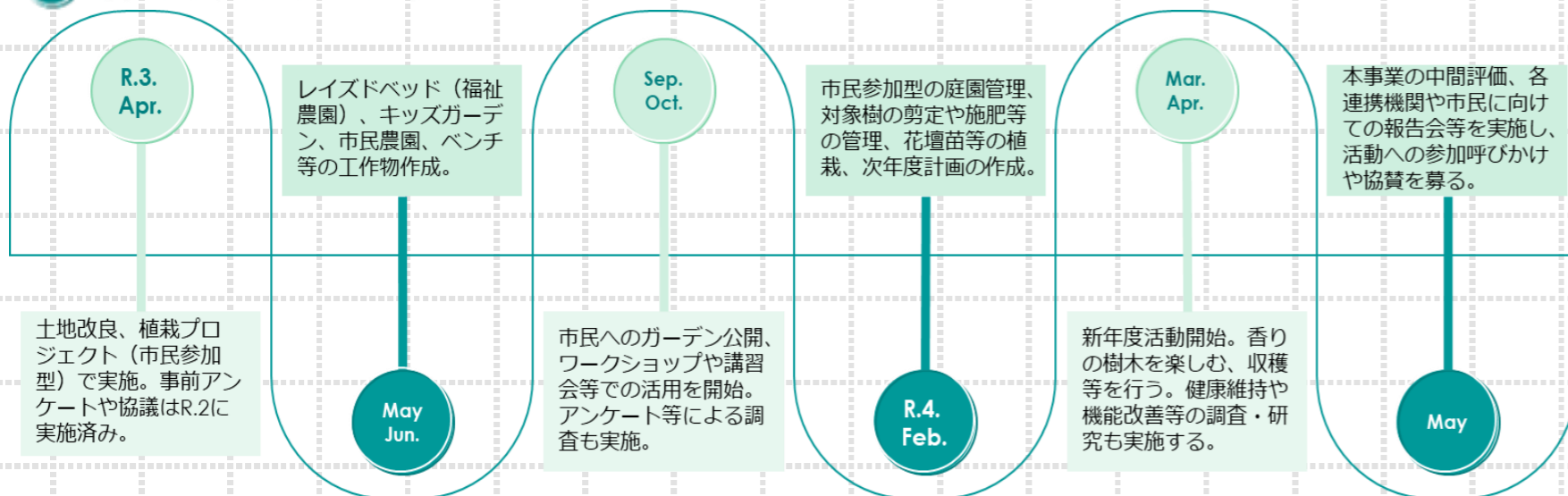
独創性

本プロジェクトは、未就園児、児童・生徒、学生、高齢者、障がい者、病院利用者誰もが利用できるような庭の設計がなされています。キッズガーデンや福祉農園（レイズドベッドの設置）、市民農園スペースが設けられています。これによって、子どもが高齢者と関わったり、親子連れが利用できたり、障がいのある方のリハビリに使用できたりと、多世代間交流と機能訓練、健康維持等ができるHPHP（HEALTHY PARKS HEALTHY PEOPLE）の概念を取り入れています。このような複合的な緑地帯は日本でも珍しいと考えており、モデルケースとなることを期待しています。

公共性

植栽地周辺は様々な施設や住宅地（マンション）が数多くあり、人々の往来も多く1日あたり約500人～1000人が庭を目にすることになります。さらに、本プロジェクトでは地域住民対象の園芸講習会や保育園・幼稚園児の教育の場として連携も企画しており、地域の教育資源的な活用も可能です。そして対象を選ばないデザインによって、誰もがいつでも庭を利用し香りを楽しむことができるようになっており、公共性は非常に高いといえます。

●活動のスケジュール



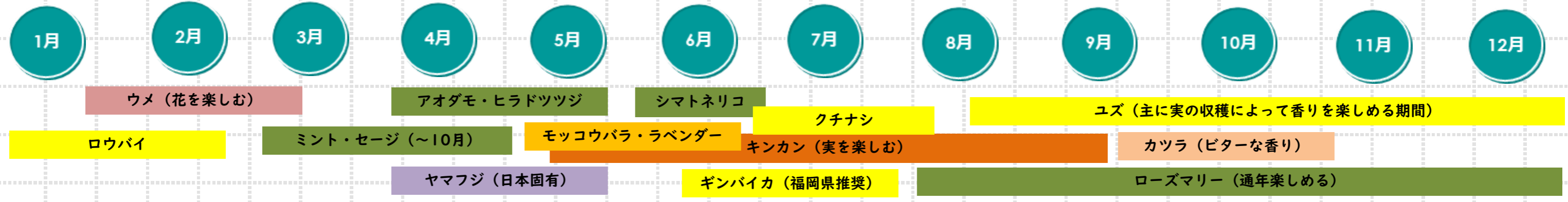
●香りの樹木（抜粋）

写真引用：「一般社団法人 日本植木協会」

地嗅 ギンバイカ 福岡県推奨樹木	地嗅味 ウメ 大宰府に鑑賞地	嗅聴 カツラ ビターな香り
嗅味触 キンカン 収穫が容易	嗅触 モッコウバラ 花と香りが楽しめる	嗅触 ローズマリー 強い香りが刺激的
		嗅聴触 フジ 色や香りが楽しめる

- 【みどころ凡例】
- 地：地域の特徴
 - 触：触って楽しむ
 - 嗅：嗅いで楽しむ
 - 聴：聴いて楽しむ
 - 味：食べて楽しむ

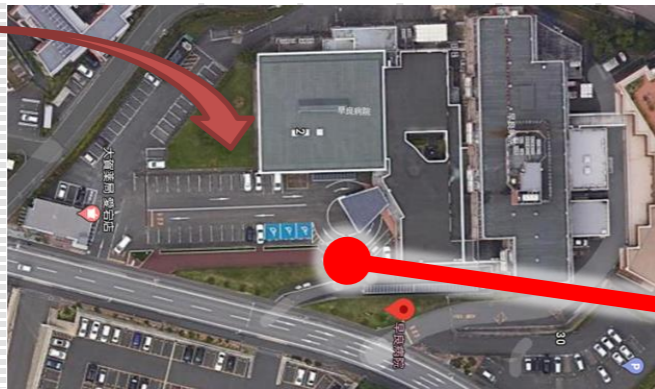
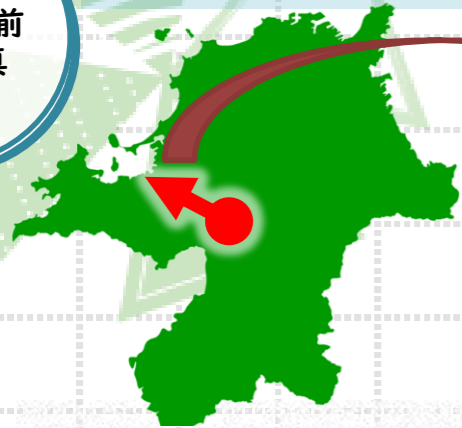
●香りのスケジュール



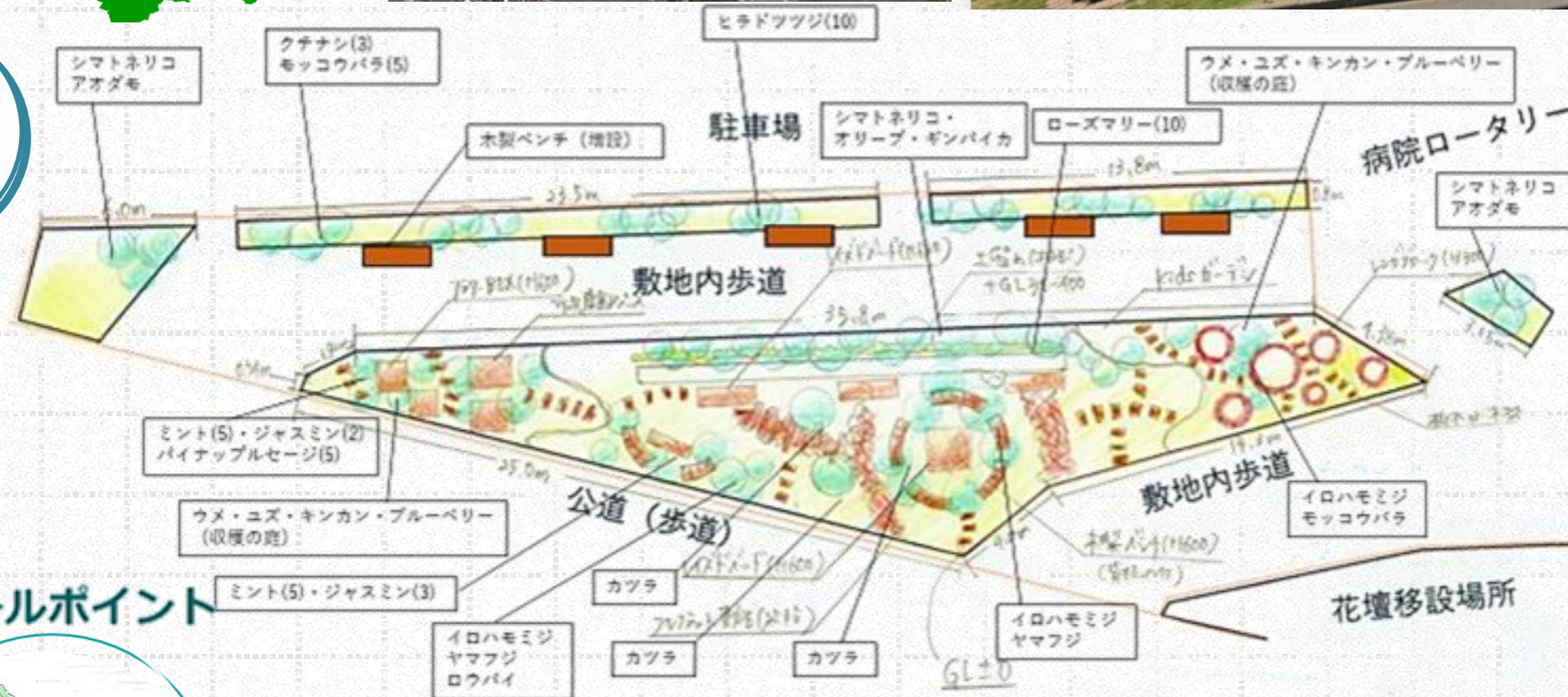
企画名：みんなツナガル癒しのさわら花笑みガーデン（現況・植栽計画）

植栽場所は福岡市西区姪浜「早良病院」の緑地帯です。現状は小さな花壇があるのみで、本格的な活用には至っていません。

企画実施前
現況写真



植栽
平面図

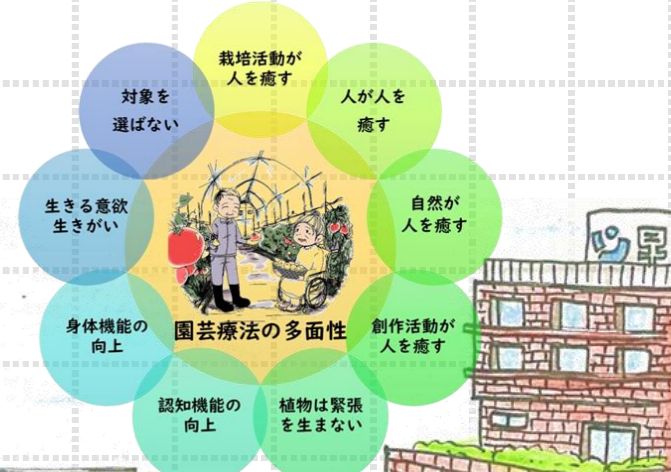


植栽
デザイン
ポリシー

本企画では、みどりと香りを楽しむことを、主点としていますがこの庭ができることで、子ども～高齢者まで健常者も障がい者も誰もがツナガルことを目標にしています。植物の香りでも癒され、ほっと一息付ける場所にしたいと考えています。そのため、植栽には香りに加えて収穫が楽しめる果樹、若い方でもなじみのあるハーブ、高齢者が懐かしめるウメやカツラなどの樹木を取り入れています。また樹木生産地である福岡県久留米の推奨樹木も加え、地域性も考慮した植栽となっています。

園芸療法
まちづくり
という視点

園芸には様々な特徴があり、行える作業が豊富であること、対象を選ばないことが挙げられます。これはまちづくりを行う上でも重要であり、誰もが参画できるということを大切にしていきたいと思っています。



アピールポイント



1 高齢者や車いすの人が利用できるようにレイズドベッド（福祉花壇）を取り入れています。これによってどなたでも香りや庭を楽しむことができます。



2 キッズガーデンを設けていることで地域の保育園・幼稚園児の活動の場として利用できます。また親子連れも気軽に香りを楽しめます。



3 市民農園を設置し、地域の方がどなたでも香りを楽しんだり、農園芸作業を楽しむことができます。これによって多世代間交流や地域活性化を目指します。

